



Time:13:40時点

統括部 物流・調達課

今週のTOPIC

中国による原油調達拡大と世界的生産余力低下による不足懸念が年末90ドルを後押し

■ [10月CP] プロパン：\$800 (前月比+\$135)、ブタン：\$795 (前月比+\$130) ■ [9月MB平均]：\$673 (前月比+\$96)

エネルギー市場

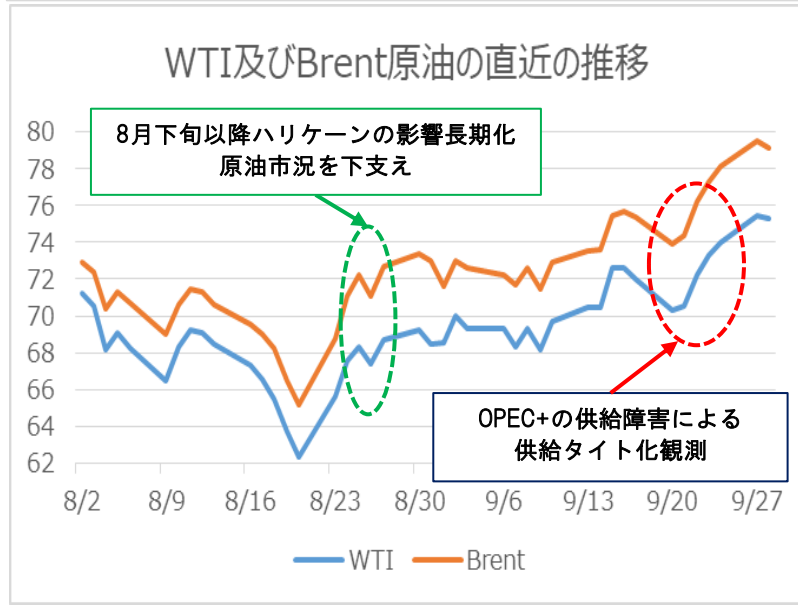
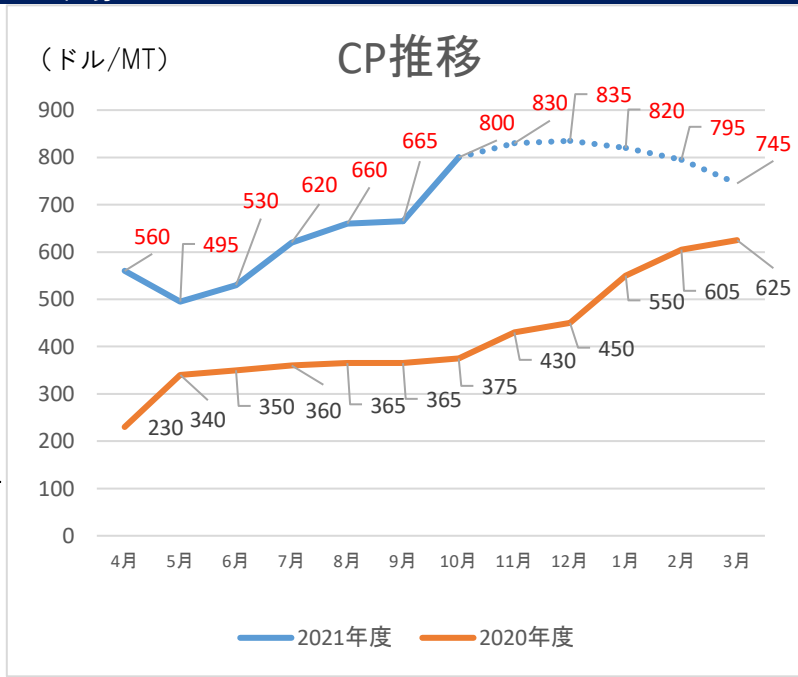
原油 先物 (USD/BBL)	今回	前回	前回比
NY/WTI	75.61	-	-
北海Brent	79.04	-	-

LPガス 先物 (USD/MT)	AL熱量換算比			
プロパン予想値	今回	前回比	今回	前回比
CP 11月	830	-	136%	-
MB 10月	776	-	-	-

プロパン	12月	1月	2月	3月	4月
CP先物	835	820	795	745	690
プロパン	11月	12月	1月	2月	3月
MB見通し	776	776	770	759	733

外航フレートSPOT (USD/MT)	今回	※前回	前回比	
中東-日本	45.5	-	-	
米国-日本 (パナマ運河経由)	81.0	-	-	
為替/TTS	10月予測	9月	8月	7月
USD/円	20日 111.75	110.91	110.88	111.52
	末日 112.00	111.17	110.85	111.31

LPG元売り10月改定幅 (円/t)	プロパン	ブタン
ジャパンガスエナジー	改定レンジ：+8,550	+7,680
ENEOSグローブ	改定レンジ：+9,060	+8,090
アストモスエネルギー	改定レンジ：+9,060	+8,190
ジクシス	改定レンジ：+8,960	+7,990



マーケット概況

	今回	※前回	前回比		今回	※前回	前回比
NYダウ (US\$)	34,326.46	-	-	TOPIX (円)	1,971.12	-	-
S&P500 (US\$)	4,357.04	-	-	金 (Gold)先物 (US\$)	1,761.40	-	-
米国債券10年利回り (%)	1.474	-	-	VIX恐怖指数 (%)	21.15	-	-
日経平均 (円)	28,415.11	-	-				

当レポートの内容は伊藤忠エネクス株ホームライフ部門 統括部/物流・調達課の発行日における見解を記したものであり、その正確性、完全性を保証したものではありません。また本レポートの無断掲載・転送・改変を禁じます。

今週のTOPIC

中国による原油調達拡大と世界的生産余力低下による不足懸念が年末90ドルを後押し

原油概況

★供給不足の状況下に於いてもOPEC+会合は協調減産幅維持の見通し。

影響度

強気・
上昇要因



- ① 中国の電力供給不足が深刻化。中国政府による原油確保の動きにより、原油の供給不足を懸念。
- ② 米原油は低在庫。メキシコ湾岸の生産稼働が約16%停止中かつシェール企業の生産回復の遅れによる供給不足。
- ③ ワクチン接種の進展による経済正常化の兆し。原油需要回復基調。

弱気・
下降要因



- ① 世界的にデルタ株の感染拡大。企業活動の停滞によるエネルギー需要減速を懸念。
- ② 中国の電力供給制限による工場の稼働率低下や不動産バブル問題からの中国経済の景気減速の懸念。
- ③ FRBが年内のテーパリング開始と2022年中の利上げを視野にいれたことにより、景気減速によるエネルギー需要減速懸念。

LPガス概況

**★北半球で暖房需要増加を控える中でLPGは低在庫の状況。
LPGの需給逼迫によりLPG価格は高値推移。**

(強気)

冬場の需要期を控える中で米プロパン低在庫によるLPG需給逼迫を懸念。

(強気)

天然ガス価格の高騰によりLPGへの代替需要増を想定。LPG需給逼迫を懸念。

(弱気)

中国の電力供給制限により一部のPDH稼働を引き下げ。PDH向け需要の減速。

「日本気象協会：3カ月長期予報」

全国：3カ月予報

気温：10月は平年より気温が高い確率40%平年並み30%平年以下30%
11月～12月は平年より気温が高い確率30%平年並み30%平年以下40%
天候：10月は全国的に天気は数日の周期で変わる見通し。
11月～12月は太平洋側では平年同様晴れの日が多い見通し。
日本海側では平年同様曇りや雨または雪の日が多い見通し。

(9月24日報)

降水量：全国的に平年より降水量が高い確率30%、平年並み40%、平年以下30%